



刊夕日五月三

平町の収入役は 結局再選らしい

事毎に深き容かいは禁物だ 日頃に於ける議員の意向

平町では大河原収入役の満期に近づき新任かを説き及ぼされて居るが最近に於ける町議員の意向は現在後任として山正男氏何れも其器に充分なるも其の何れを好ましくは自ら二派に別れ好ましくは紛争を想像されるのみならず吏員の任免に對して事毎に町會議員が深き容かいはなすことを慎まねばならぬ更にまた三期間の動議を過りなく職に奉じた現収入役退任の意志なきものを徒らに左右せんとするが如きは無情も甚だしきもので其結果一般吏員の思想上にも悪影響を及ぼすことになるので議員間の反目を誘成するよりも再選が無難であると唱ひられてゐるから結局大河原氏の留任に決するものと観られてゐる

學藝會 展覽會

平第三校で

平町第三小學校では今日五日前九時から正午まで各學級の學藝會を行ひ父兄數百名の參觀を喜ばしたが尚ほ同會を兼ねて

今度は飲食店が 割當不當を叫ぶ

纏らぬ惱みの遊興税

平町乙種料理屋組合(南町飲食店)では縣より割當せられた六年度遊興税九百圓に對し過重なりとて當局との協定を拒絶して來たので縣稅務平出張所では係員を派して營業者個人の所得額を査定し賦課額を決定したところ組合側では割當九百圓を三分の一に減額されたしと要求して來たが當局ではこの余りに虫の好すぎを要求に憤慨し斷固として減額せぬ方針に決したが組合側

軍人分會の 活動

福島縣軍人分會、家族慰問金募集 在郷軍人平町分會では愛國飛行機福島縣建設金及び滿州事變、上海事件に於ける平町出征軍人家族の慰問救濟の基金に充つるため一から一口

山崎伍長 葬

十一日執行される 飯野村出身山崎伍長の遺骨は昨報の如く八日午前十時三十分平澤に到着するが葬儀は十一日午後一時同村小學校庭で村葬を以て執行される

山火事

十町歩を焼く 赤井村大字不動地内雜木林から四日午後四時頃山火、山林十町歩、番小屋一棟を焼いて同六時頃鎮火した、損害五百圓原因取調中

依託金を猫婆

神谷村中神谷志賀兼太郎(三)は六年十二月永戸村合戸松本政三郎より白米一俵の買入方を依頼され受取つた内金十圓を横領消費して三日告訴された

螢雪の功を積んで 巢立つ警中生百九十六名

一五十音順 七日午前十時證書を授與される警中第卅二回卒業生百九十六名の氏名左の如くである、△優等生今宮正平、木村五郎、木内佐門、下山田佐久彌、鈴木新夫、長瀬直衛、松野久作、吉田榮延、△五ヶ年間精勤者阿部忠義、阿部省三、阿部秀良、朝妻仲治、愛川一美、秋山常衛、大友春美、大友能一、大和田藤太郎、叶田正良、片寄登喜雄、菅野正市、木内佐門、小磯利隆、里見政雄、下山田佐久彌、鈴木新夫、鈴木末二、須田正、田久清、中村一夫、根本常夫、長谷川清美、松野久作、水野彦雄、門傳正、吉田泉彌、渡邊行雄、渡邊常太郎、和田好美、小野武(以上) 阿部徳三郎、阿部恒男、有

追跡格闘の末遂に就縛 今曉平驛前の大捕物

三縣下荒しの際 五日午前一時ごろ平驛待合室でリンペン共を集めて密柑を食はせてゐる青年を不審と視み驛駐在の荒井巡査が誰何すると矢庭に自轉車に打乗り逃走したので追跡格闘の末取捕へたが此奴は双葉郡熊町村夫澤生れ丸添榮吉(三)で東京茨城、福島三縣を股にかけ瀧内義方、橋七郎、高橋清吉、高橋金治、高橋新治郎、高岡文夫、田中久安郎、丹野清、丹野千吉、瀧内集瀧彌二伊、竹本慎一郎、竹本研一、谷口保、武田義雄、丹大正、反保忠司、富澤巖富澤初一、富岡三津男、富安實、中村三朗、中村良輔、中根幸雄、中川義一、中野大三、中務、中山辰雄、長澤秀治郎、西山武治、西村正夫、新妻晴夫、布谷敏雄、根本久太郎、野口一、箱崎

衛生事務打合

平署管内衛生主任事務打合せ 會は廿四日午前十時から平署

掛金を拐帯 して逃走

平町一丁目鈴木一郎方雇人横濱市中區光明寺町生れ學治三男小泉季雄(三)假名は町内貯金庫清和會の集金廿七圓を拐帯逃走した

内務部長 歡迎宴

今夕住吉屋で 赤土内務部長は五日來平郡内初巡視を行ふが平町有志は同日夜六時から住吉屋本店で歡迎會を開くと會費は二圓である

將 中野正剛氏等の 満蒙座談會

荒川氏の遺筆 何れ斯うした場合は回を重ねて催される事でありませうから其の機会には私の思ふ所を述べねばならぬ對支外交策を遠慮なく申し上げる覚悟であります、故に今席の處は御

衛生事務打合

平署管内衛生主任事務打合せ 會は廿四日午前十時から平署

掛金を拐帯 して逃走

平町一丁目鈴木一郎方雇人横濱市中區光明寺町生れ學治三男小泉季雄(三)假名は町内貯金庫清和會の集金廿七圓を拐帯逃走した

内務部長 歡迎宴

今夕住吉屋で 赤土内務部長は五日來平郡内初巡視を行ふが平町有志は同日夜六時から住吉屋本店で歡迎會を開くと會費は二圓である

將 中野正剛氏等の 満蒙座談會

荒川氏の遺筆 何れ斯うした場合は回を重ねて催される事でありませうから其の機会には私の思ふ所を述べねばならぬ對支外交策を遠慮なく申し上げる覚悟であります、故に今席の處は御

衛生事務打合

平署管内衛生主任事務打合せ 會は廿四日午前十時から平署

掛金を拐帯 して逃走

平町一丁目鈴木一郎方雇人横濱市中區光明寺町生れ學治三男小泉季雄(三)假名は町内貯金庫清和會の集金廿七圓を拐帯逃走した

内務部長 歡迎宴

今夕住吉屋で 赤土内務部長は五日來平郡内初巡視を行ふが平町有志は同日夜六時から住吉屋本店で歡迎會を開くと會費は二圓である

農業

書入時に臨む

病害虫の 駆除豫防 (一)

農試木場 伊藤 技師

積雪と寒風に閉ぢられて家内に縮まり勝であつた吾人が、胎動の春風に手も足ものびた気分です。三月に這入れば冬に伏した茶の芽は日毎に伸びる、黄色勝つ緑の葉が肥やかに花香を含まして育つ蝶の發蛾も誘はれて来たが本月の末から四月の候は生けるものも多くが踊り出す時期で病害虫が活動の下準備をなすのも此の時である。従つて一般農家が之れが豫防の書入時なのだ。稲作に麥作にそして果樹に蔬菜に何れの作物も来る四月が豫防の最好時期である、殊に果樹類にあつては盛夏の繁茂期に於ては動もすれば害虫を起す心配があるが此の時期には果樹がまだ休眠期なので少し位強い薬剤を撒布しても害がない。それ故に余り遅れない中是非早く薬剤撒布を施行することが肝要である。

普通作物

稲の馬鹿苗病、木病はフザリウム菌の寄生によつて起る病害であるが管理良しきを得ない時に殊に發病するものである。先づ第一には浸種であるが、浸種の目的は種子に水を充分吸収せしむるが爲であつて稲は普通五日間で水を吸ひ切りそれ以上浸して置いても得ないばかりか余り長く水に浸して置くと種子の内部が水に浸けて外部へ流れ

出すから反つて害があるのである

入院需應 ◀ 紺屋町 ▶

藤沼醫院

電話 五〇七番

スペイン G.H.N 元 詰
甘味 葡萄酒
ゴルフポートワイン
¥ 1.10
御婦人の方には少し水を加へて
召し上るさ風味一そう佳良です
(平二) 西村屋薬舗 (電三)

お醤油は ヤマフル

醬油 味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品

鹽屋 山崎合名會社
電話 本局 二七番

代理店 山城 山崎與三郎

藤田女學校生徒募集

一、本科 五十名
二、裁縫專修科 百名
三、師範科 三十名
四、專攻科 二十名
五、本科、裁縫專修科二年編入若干名

(新設) 選科(夜間部) 五十名
右希望者ハ至急願書提出ノコト
詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ
昭和六年三月
福島縣平町田町
文部大臣 藤田女學校
認 電話 三二八番

明雲堂眼科醫院

入院應需
平驛前(電話六六九番)
◇自炊の便あり

外科 (内臓外科) 醫學士 松永憲一
外科一般
産科、婦人科 院長 木村寅次郎
平町新川町一九
電話一六四番 木村病院

染毛赤 染がらま

黒髪之美!

フツクラと伸び上げた髪は、その艶、その輝、その力、それは「八雲」の力です。

染め方至極簡単
自然の黒さに戻る
髪にやさしい

石川製薬所
大阪市北区
北見町二丁目

(部一の堂食)

五丁目平發賣所 山野邊藥局
是非一度御出下さ

ランチ四品付五十錢 五品付定食一圓
支那料理 本タン
電話五七六番

内科 小兒科
平町南町
大森醫院
醫學士 大森 勇
電話二五八番

煙突は 朝日

石綿セメント製 朝日煙突

絶対に ばげない!!
やけたい!!
くさらない!!
経済的で 火災の心配がない

金屋商店

生徒募集

時代に適した婦人の職業
産婆 看護婦

卒業 一ケ年
申込 四月八日迄
入學無試験

平町南町
平産婆看護婦學校
校長 清野キヨ
電話三〇七番